

「水俣市橋梁維持管理方針（素案）」についてのパブリック・コメント

実施結果及び市の考え方

「水俣市橋梁維持管理方針（素案）」について、市民の皆さまからの御意見等を募集しましたが、寄せられました御意見等とこれらに対する市の考え方を下記のとおり掲載いたします。御意見をお寄せいただきありがとうございました。

記

1 募集期間

令和5年5月8日（月）～令和5年5月31日（水）

2 閲覧場所

① 市役所3階資料閲覧コーナー ②おれんじ館 ③愛林館 ④湯の鶴温泉保健センター ⑤市ホームページ

3 御意見等総数（意見等提出者数）

提出	0件（0人）
郵送	0件（0人）
FAX	0件（0人）
Eメール	1件（1人）
計	1件（1人）

4 御意見等の取り扱い

意見等を踏まえ、素案を修正・追加補足するもの	0件
今後の取組の参考とするもの	1件
上記のどちらでもないもの	0件

1 パブリック・コメント意見等に係る市の考え方

No	ページと項目名	意見等の概要	市の考え方
1	<p>【ページ】 3、4、7、8ページ</p> <p>【項目】</p> <p>2 水俣市の課題 3 今後の方針 4 基準の設定</p>	<p>令和4年検討委員会で架け替えが妥当と結論が出されているのに、今後の方針では、重要度Bとなっている。これに対する説明が全くない。</p> <p>令和6年度には幸橋歩道橋を撤去するというが、幸橋架け替えに伴うのであれば理解できるが、歩行者が、歩道橋撤去後の幸橋を通るのは、狭く危険ではないか。幸橋は、この地区からは避難所（もやい館）に行くにも、第一小学校へ通うにも近道である。高齢の歩行者、自転車の通行者も多く、安全に通行できる交通路である。維持してもらいたい。</p> <p>近年各地で発生している洪水のことや、通行の安全面を考えると、費用がかかるが、新しく架け替えてほしい。</p>	<p>本方針の基準では幸橋は重要度B、幸橋歩道橋は重要度Cに分類されておりますが、昨年度に実施しました検討委員会におきまして幸橋は必要であり、架け替えが妥当との意見を尊重し、本方針策定後に、幸橋の測量設計業務を行い、令和6年度から幸橋と幸橋歩道橋の架け替え事業に着手します。また、構造につきましては、歩道と車道の一体化による橋梁新設を検討してまいります。</p>